



◀ 雪対策委員会による県道の歩道除雪の様子。地区が一丸となって取り組んでいる。

寺内地区では雪対策委員会を組織し、流雪溝の管理や、生活道路、通学路の確保など、地区を挙げて雪対策に取り組んでいます。

雪と生きる

シリーズ10

寺内第1区長
すみお
三浦澄夫さん

永年、地区の会計を務め、平成23年度から区長として地区のために奔走。地区民からの信頼も厚い。



地区が一つになって克雪に取り組む

Q 雪対策委員会ではどのような取り組みをしていますか。

A 市道・県道の流雪溝の管理をしています。また、県から除雪機械を借り、共助の地域除雪（一人暮らし高齢者宅などの除雪）や通学路などの除雪も行っています。

Q 苦労している点は。

A 寺内地区では本町地区と違い水量の確保が難しいため、路線ごとに使用時間を決めて投雪しています。また、電気契約上ポンプ稼働の制限もあることから、流雪溝の使用時間の調整が難しいです。水路への流水はタイマーも使っていますが、止水板を1日に何度も手作業で操作している箇

所もあります。

Q 地区での雪対策には何が重要でしょうか。

A 流雪溝のない裏通りからも委員を選出してもらっているなど、地区が一つになっていることが雪対策には必要です。除雪作業に不可欠となった流雪溝の管理の苦勞を理解し、地区の皆さんがルールを守るなど協力をしてもらっていることに感謝しています。

「お水のお願い」
限りのある流雪溝の水を上手に使うため、責任者以外
は分水箇所の勝手な操作は
やめましょう。



TOPICS 1

文部科学大臣表彰

本市の身体障害者福祉協会が12月7日文部科学大臣表彰を受けました。



12月19日受賞の報告に来庁されました。

尾花沢市身体障害者福祉協会（会長五十嵐 孝義氏）は昭和51年設立。現在の会員は138人で、障がい者を対象にスポーツ文化に触れる機会を創出し、豊かな生活を送れるように支援してきました。また、今年度は全国障害者スポーツ大会のフライングディスク競技において会員が金メダルを獲得するなど、めざましい活躍もありました。これらの生涯学習支援活動に貢献したことが評価され、今回表彰を受けました。

TOPICS 2

市民賞受賞者

表彰式は1月5日、サルナートで開催された新春祝賀会の冒頭に行われ、出席者が拍手で受賞を祝いました。

産業文化賞

大山弘一郎氏（藤袋2）

大山氏は昭和7年生まれ。みちのく村山農業協同組合すいか生産部会部会長として、選果施設の建設や主力品種の生産拡大に尽力され、本市特産品である尾花沢すいかのブランド確立に貢献されました。また、藤袋第2区長を永きにわたる務め、行政と地域の橋渡し役としても活躍されてきました。

市民功労賞

伊藤嘉子氏（鶴子2）

伊藤氏は昭和9年生まれ。昭和53年より永きにわたり、尾花沢市婦人防火協力班連絡協議会の要職を務め、市民の防火意識の啓もう活動に尽力され、安心安全な暮らしに貢献されました。

また、みちのく村山農業協同組合女性部部長をはじめとする、女性の視点を生かした地域活動を行っております。

教育振興賞

早坂宗太郎氏（新町4）

早坂氏は昭和10年生まれ。尾花沢市青少年育成市民会議会会長を14年の永きにわたり務められ、青少年の健全育成とその指導に熱意を注がれてきました。

また、市芸術文化協会の会長も務め、子どもから大人まで幅広い世代の豊かな情操を育む活動に取り組む、市民生活の向上に尽力されました。



左から大山英紀氏（大山弘一郎氏代理）、伊藤嘉子氏、早坂宗太郎氏

元気が尾花沢を 目指して

正月の賑わいは落ち着きを取り戻し、一段と厳しい寒さがやってきました。

今年も、元号が平成になってから30年という節目の年になっておりますが、この30年で尾花沢市の街並みや生活スタイルなどが大きく変わってきています。そのような中で、変わらず受け継がれているものも本市には数多くございますが、そのひとつが、尾花沢ならではの「食」です。少し前になりますが、山形の最上・村山地方では、そばと一緒にゲン天を食べるといふ内容がテレビで放送されました。この地域以外では、エビや野菜の天ぷらと一緒に食べるのが一般的なのですが、これも地域独特の食文化なんだと実感したところです。市内で普段食べられている食事を振り返ってみますと、「くら餅」や「納豆汁」、「からかい煮」や「田作り牛蒡」など、ふるさとの味と言え、食事が数多く存在し、尾花沢ならではのふるさと食が脈々と受け継がれていることに驚かされます。

本市では、ふるさとの味を継承する取組みとして、伝統料理教室を開催したり、尾花沢市食生活改善推進協議会が発行した冊子「尾花沢地方の伝統食」について、季節ごとの料理や作り方を市ホームページ上で紹介していますので、興味のある方はぜひご覧になってみてください。



市長コラム

市長加藤 国洋